

令和3年度 第1回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和3年度 第1回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和3年6月29日 午後1時30分から午後3時53分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学习センター 多目的交流ホール
4	出 席 者	松下委員、初谷委員、田守委員、古川委員、樋口委員、小田委員、鈴木（研）委員、小笠原委員、鈴木（健）委員、黒澤委員
5	市側出席者	平林教育部長、山下文化課長、遠藤豊科図書館長、金子三郷図書館長、伊藤堀金図書館長、青木明科図書館長、高嶋中央図書館長、奈良澤係長、松下主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0 人
8	会議概要作成年月日	令和3年7月8日

○会議の概要

- 1 開会（山下課長）
- 2 あいさつ（平林教育部長）
- 3 委嘱書交付
- 4 自己紹介
- 5 協議事項
 - (1) 令和2年度安曇野市図書館事業報告
 - (2) 令和3年度安曇野市図書館概要説明
 - (3) その他
- 6 その他
- 8 閉会（山下課長）

5 協議事項概要

- (1) 令和2年度 安曇野市図書館事業報告について

議 長 協議事項1 令和2年度安曇野市図書館事業報告を事務局よりお願いしたい。

事務局より説明。

議 長 事務局より令和2年度の事業報告について説明いただいた。図書館事業、運営状況に関わる

ご意見や評価などは、全ての資料説明の後とさせていただくので、続いて協議事項2の令和3年度安曇野市図書館概要について事務局より説明をお願いしたい。

事務局より説明。

議長 資料1, 2について事務局から説明いただいたが、この件について事前に委員より質問事項等をいただいているので、そちらから先に説明をいただきたい。

事務局 資料3に従ってご説明させていただく。

表中にある星印で計画、数字の意味を質問いただいた。事業等が図書館基本計画のどの基本方針に従っているのかを表している。

資料の収集と貸出で、令和2年度の資料の出入りの数についてご質問いただいた。受入数が14,335冊、払い出しが10,851冊で差し引き3,484冊の増となる。

リサイクルフェアとリサイクルコーナーの名称について、紛らわしいということで名称変更についてのご意見いただいた。それぞれ事業名として定着しているので、令和3年度はこのまま開設させていただく。

目に障がいのある方の録音図書の利用について、どんな方法で周知していくのかご質問をいただいた。福祉関係の現場で周知を図っていただくよう働きかけていきたい。

おいしい安曇野塾や大人のための絵本講座は好評だったということだが、同時にライブ配信は考えられないかというご提案をいただいた。講座の内容等でライブ配信等に適したものがあれば検討させていただきたい。

今回の資料は、図書館協議会向けか一般向けかというご質問をいただいた。事業報告は、ボリュームのある資料となっているので、一般向けには適さないと判断されるが、図書館概要については、一般向けとしても良いと思われる。ただし、現段階では公開できない部分があるのでお待ちいただきたい。

サービス目標値と現状で、既に第2次図書館基本計画の目標値を上回っているものがあるが、目標値の変更はできないのかというご質問をいただいた。目標値の変更は今後考えていきたい。

令和2年度の開架率が前年度より減っているのはなぜかというご質問をいただいた。一番には、新しい購入本を入れるスペースを確保できるように、開架の冊数を緩和したためということがあり、また、中央図書館に於いては、令和3年度に行う配置換えに備えて、閉架への移動や廃棄を進めてきた結果と判断される。

図書館費の当初予算に予算額と経常経費の欄があるのはなぜか、また、各予算項目の内容の説明がほしいというご質問をいただいた。過去に図書館整備を進めている時点で、新図書館開館用の臨時的経費を相当額計上していたので、予算額全体の中で経常的な経費はどのくらいかを示すために欄を分けていたが、現在は備品購入費に三郷図書館分の臨時的経費がわずかに計上されているだけなので、以後の資料からは経常経費の欄を削除させていただく。また、予算項目の説明については、資料

3にあるものをご覧いただきたい。財源内訳の豊科交流学習センターの施設使用料というのは何かというご質問をいただいた。令和

3年度より豊科交流学習センターの運営を指定管理に出し、施設の維持管理を図書館係が担当することになったので、維持管理経費の光熱水費等について、指定管理者から支払いを受けている。昨年度の決算は出すことができないかというご質問をいただいた。昨年度の決算は、現時点では公表できない。

図書の購入費は別にあるのかというご質問をいただいた。資料2で説明した、令和3年度安曇野市図書館費当初予算の備品購入費に含まれている。

図書購入費の予算と決算はどうなっているのかというご質問をいただいた。資料4に予算額で年度別の推移を示したのでご覧いただきたい。

利用状況の表の比較欄は増減値なので、プラスマイナスの表記をすべきではないかというご意見をいただいた。次回より訂正させていただく。

蔵書数の推移について、購入分と廃棄分についてご質問をいただいた。資料4に整理させていただいたのでご覧いただきたい。

蔵書数の値が表によって違っているのはなぜかというご質問をいただいた。視聴覚資料の数を入れるか入れないかの違いであるが、県や国で求めている数値と安曇野市の統計で扱っている数値が違うことによるものである。

分類比率では、明科図書館が文庫の率が高い理由と三郷図書館と堀金図書館の絵本の率が高い理由、また、その絵本の分類比率の目標値が達成できていない理由についてご質問をいただいた。分類比率については、各館の特徴を出すために立地環境などを念頭に、特色ある資料収集計画の中で目標値が設定されている。目標値には、限られた予算の中で達成できるように努力をしている。分類比率の目標値はどこから来たものかというご質問をいただいた。特色ある資料収集計画の数値となっている。

蔵書構成について、理想とする構成に近いのかというご質問をいただいた。中央図書館を核に、現状はこのような蔵書構成となっているが、時代と共に図書館の在り方も変わってくるので柔軟な対応をしていきたい。

各年齢層の市内人口に対する登録率を資料にほしいというご意見をいただいた。資料4をご覧いただきたい。登録者数は現状では精査が必要な状態ではあるが、傾向ということでご覧いただきたい。

資料1と2について事前に出された質問事項等の説明は以上とさせていただきます。

議長 それでは、ご質問ご意見等に移らせていただく。

委員 サービス目標値と現状にある、令和9年度の目標値はどこから出されているのか、また、安曇野市独特の地域情報を整理し、他の図書館や博物館とやり取りできるような強みを持つという長期計画を持ってほしいがいかがか。

議長 第2次安曇野市図書館基本計画のサービス目標値はどこから来ているのかということ、地域の特徴ある情報提供にもう少し力を入れた方が良いのではないかとということによろしいか。

事務局 第2次図書館基本計画を策定するにあたり、当時のデータを基に10年後を予測して設定したものである。地域情報の提供には積極的に取り組んでいきたい。

委員 事業報告の図書館協議会の項で、協議内容で進捗状況が落ちており、また、事業計画方針でなければならぬところが誤記載になっているので、図書館協議会がどのような議題で話し合われているのかという大事な事項は正確に記載していただきたい。

図書館法などでは、図書館事業計画及びその達成状況や点検評価を公表することになっているが、現在はなされていないので、資料2が一般向けということであれば、内容的に名称を令和2年度安曇野市図書館運営概要として公表すればいかがか。

議長 資料1の訂正と、事業評価と達成状況の公表が必要ではないかとということによろしいか。

事務局 資料1の図書館協議会の項については、修正させていただきます。また、事業評価等の公表が必要であるということは、事務局でも十分認識しており今後公表に向けた資料の整備をしていく予定である。

議長 去年のものを公表していくということによろしいか。

事務局 今年作成した図書館概要に決算を加えさせていただき、体裁を整えた上で公表させていただきます。

議長 時期はいつ頃になるか。

事務局 市の決算数値が公表できる段階ということでご理解いただきたい。

委員 事業計画については簡易版のような話があったが、資料1の令和3年度安曇野市図書館事業計画を公表することに差支えは無いと思うがいかがか。

議長 令和3年度安曇野市図書館事業計画を公表すればどうかという提案であるがいかがか。

事務局 前向きに考えさせていただく。

議長 他にありますか。

委員 明科図書館の事業報告にある大逆事件、松本市浅間の方が書いた、僕のお嫁さんになってねという戦争体験の話など、この地域特有のリアリティを持った情報をうまく活用することが必要だと思う。また、先日 91 才で亡くなった、エリック・カールさんは、はらぺこあおむしで有名だが、この様な

タイミングで、この方に関係する日頃あまり利用されていないものなど含めて紹介をする、というような時期を見た企画を長期計画の中にうまく入れていただけないか。令和 9 年までの計画に図書に関して、時期に敏感に反応してタイムリーな情報を出していくということをお願いしたい。

議長 計画の中に地域性のある、タイムリーな内容を入れてほしいということであるが、事務局でいかがか。

事務局 計画させていただく。

議長 他にはありますか。

委員 資料 3 に昨年度の内から準備をして、5 月の蔵書点検中に本の配置換えをしたとあるが、どのような意図で行われたのか、変更後どのような効果があったのか、次回の図書館協議会の折にレビューしていただきたい。

議長 事務局でいかがか。

事務局 0 類を前に持ってきたということだが、次回にご説明申し上げる。

議長 時間の関係もあるので、あと一人をお願いしたい。

委員 資料 2 の文化課の組織で、文化振興担当の下に四つの交流学习センターを管轄しているように記載されているが、先ほどの説明の中で豊科交流学习センターは指定管理に出されたということなので他の三つのセンターはどうなのか、また、文化振興担当との関係やセンターの特色を生かした事業計画はどのように作られたのか教えていただきたい。

もう一つ、今年の 3 月 31 日現在の、各館の分類比率の記載があるが、各館微妙に違うこの目標分類比率はどのように決められたのか。また、本の収集について 5 館の方向性が位置付けられているのかお聞きしたい。

議長 豊科交流学习センターの指定管理による図書館への影響はどうなのか、また、各図書館で異なる分類比率は目標をもって決められているのか、ということよろしいか。

事務局 交流学习センターで指定管理に出したのは豊科交流学习センターのみであり、図書館を除く 2 階部分をお願いしている。指定管理とした理由は、近代美術館と中でつながっているという状況があり、近代美術館と一体的に管理した方が更なる事業の発展が見込めると考えた。組織図で、豊科

交流学習センターが文化振興担当の管轄にあるのは、指定管理者とセンターの運営や事業等について協議

を行う窓口になっているためである。

事務局 各図書館がどのような特色を持って分類比率の目標を決めているのかということについては、

以前にお配りした特色ある資料収集計画に記載があるのでご覧いただきたい。もともとあった五つの図書館から引き継いでいる現実の分類比率に、新館となってからの特色を出していくために考えてきた目標分類比率である。

委員 特色ある資料収集計画は、資料のどこにあるのか。

事務局 昨年度新任の委員には配布させていただいたが、継続委員にはそれ以前に配布させていただいたので、無いようであれば再度配布させていただく。

議長 特色ある資料収集計画は再度配布していただく。各図書館に特徴を持たせるための目標分類比率は、特色ある資料収集計画が根拠になっているということによろしいか。

それでは、次のその他に移らせていただく。

事務局 令和2年度の事業について、図書館としての評価はどうかというご意見をいただいたので、

資料5にまとめさせていただいた。成果としては、コロナ禍でも、できるだけイベントを中止にしないようにということで、新たなイベントの形など工夫させていただいた。統計的には、コロナ禍で利用者や貸出数が減少しているが、今後徐々に回復傾向に向かうものと判断している。市民の皆様に親しみを持っていただけるような図書館にしていこうと、努めているところである。おはなし会や外に向けたお出かけ図書館なども積極的に開催することができた。課題としては、広報関係が弱いというようなご指摘もあるので、SNSの積極的な活用など情報発信に力を入れていきたいと思う。また、多様化する市民の学びに応えるために、レファレンスサービスの強化など、司書のスキルアップを図っていきたい。

議長 付随して委員の方から説明をお願いしたい。

委員 いかに青少年に図書館を利用してもらおうかということが大事だと思うので、全館で青少年の図書館利用拡大に取り組んでいっていただきたい。

議長 他に付帯意見などあればお願いしたい。

委員 青少年向けにはSNSでの情報発信が有効ではないかというのは、市民ワークショップでも意見が出されていたところであるが、現状では安曇野市のホームページから市のツイッターに入って図書館の記事を探すということだが、図書館のホームページから図書館のツイッターに入るといことはできないか。

議長 事務局の方でよろしいか。

事務局 現状は市の公式ツイッターを図書館が利用しているという形になっているが、全館で記事をあげていくようになれば、図書館単独の公式ツイッターにした方が良いのではないかと、というご意見もいただいているので検討していきたい。

議長 どうぞ。

委員 安曇野市のツイートがありその中に図書館のツイートがあるというのは、市が発信する様々な情報が役立ちますし、その中で図書館の情報も確認できるということで利用されるので良いのではないかと。特にホームページに関連付けられている必要は無いのではないかと。

議長 どうぞ。

委員 図書館で独自に公式ツイッターをとらなくても、埋め込みでツイートが表示できるようになると思うのでご検討いただきたい。

議長 今の3人の委員の意見について、事務局はいかがか。

事務局 検討させていただきたい。

議長 資料3にあるその他の意見及び要望について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局 選書及び配架についてのご質問をいただいている。図書購入件数とその経緯については、資料4をご覧ください。

次に、市民から提出された購入希望の件数については、同じく資料4の中にあるリクエスト集計表をご覧ください。受け入れは、全部で680件、内購入は478冊で、70%の購入割合となっている。

次に、選書会が週に1回、全体会が月に1回と聞いているが、発注は月に1回なのかというご質問をいただいた。発注は毎週行っている。月1回の全体会では、単館では購入判断等が難しい案件を持ち寄り協議する場としている。

次に、購入決定後、発注・納品・配架という流れに要する日数については、図書の状況にもよるが、通常は1週間から2週間程度になる。最短では、3日から4日である。本が売り切れ、重版状態にあるときは、最長で3カ月待つことになっている。絶版で購入できないということもある。

次に、社会科学系の書籍が貧弱であることについては、図書館ではどんな認識をしており、どんな改善の方法を考えているのかというご質問をいただいた。図書館では全ての分野に於いて資料が充足して

いるとは考えておらず、どの分類に於いても足りないと思っている。限られた予算の中で、バランスを考えながら選書を進めているのでご理解いただきたい。

次に、図書館として、選書から配架に至るまでの過程での課題はというご質問については、代表的な事項として、限られた予算の中で優先順位を判断しできるだけ無駄の無いような選書を心がけること、図書館職員が対応している書誌データ作成の効率化などがあげられる。

次に、社会科学系書籍の充実ということで、難しい本は市民は読まないだろうなどの偏見を持たないようというご要望をいただいたが、図書館ではそのような視点で購入を決めるということはないのでご理解いただきたい。

次に、館内で図書の配列を変更する場合には、どのような理由で、どのように変更したかを館内に分かりやすく掲示をというご要望をいただいた。これについては、配置変更を行った蔵書点検明けから既に掲示をしているのでご確認いただきたい。

次に、図書館システムの更新でホームページの表示が変わっているが、個々の本のタイトルが表示できないかというご要望をいただいた。ホームページの画面内に表示の切り替えボタンがあるのでご利用いただきたい。これは、機器や通信環境によっては、画像を出すことにより表示時間が長くなってしまうというようなこともあり、利用者が選択できるように対応したものである。

次に、マイ本棚などPC用とスマートフォン用の画面で表示が違うので、同じような画面にできないかというご要望ですが、スマートフォンで安曇野市のホームページを開くとスマートフォン用の画面展開になってしまうので、市のホームページを開いたときにPC用の画面に切り替えてご利用いただくようお願いしたい。

次に、図書館ホームページの条例・計画のところ、条例のリンクが無いというご指摘は、現在リンクを貼ってあるのでご確認いただきたい。

次に、図書館システムの新しい機能として、マイ本棚や読書履歴、読書マラソンが追加されているので、利用促進のPRをしてほしいというご意見をいただいた。10月頃にWeb利用の促進を目的に大人のためのとしょかん塾を企画している。

次に、図書館協議会の今後の方針についてということで、会議の中では議論の時間が十分ではないので、分科会を月1回くらい開催してはどうかというご提案をいただいているが、月1回会議を持つということは難しいので、事務局としては次回の会議に合わせて勉強会を開催するという案で、ご意見をいただきたいがいかがか。

議 長 今回の事務局からの報告について、全体をとおしても良いので何かあったらお出しいただきたい。特に無ければ、以上で本日予定した内容については全て終了したので、協議事項について閉じさせていただきます。

以上